

◆◆ 2018年度 子ども家庭支援ソーシャルワーク研修 ◆◆

～ 多職種連携による包括的支援をめざして～

2016年の児童福祉法改正では、児童虐待の発生予防や、発生時の迅速かつ確かな対応を行うため、妊娠期から子育て期にわたる総合相談や支援を行う「子育て世代包括支援センター（母子健康包括支援センター）」の法定化や、市区町村における支援体制を充実させるための支援拠点の整備が行われるなど、市区町村の体制強化がなされました。地域を基盤として子どもとその家庭を支えるためには、社会資源が十分に整備され、市町村が子ども家庭支援の機関連携の要として十分に機能すること、また家庭への適切なアセスメント機能と支援機関連携のマネージメント機能を遂行できる人材が必要です。

本研修では、子どもとその家族を支援するために必要な地域支援の仕組みや各課題を学び、特に児童虐待の要因となり得る貧困問題やDV、子どもの発達課題や親の精神疾患の問題等を学び、地域における子ども家庭支援を実践できるよう社会福祉士としての価値や倫理を踏まえた知識と技術を身につけることを目的に開催します。

1. 日 時： 2019年1月12日（土）～13日（日）
2. 会 場： タイム24ビル 研修室121（東京都江東区青海2-4-32）
3. プログラム（予定）：

時 間	内 容	
1 日 目	10:00～10:15	開会挨拶・オリエンテーション
	10:15～12:00 (105分)	講義「子ども家庭福祉における地域包括支援とは」 講 師：宮島 清 氏（日本社会事業大学専門職大学院教授）
	12:00～13:00	休憩
	13:00～14:45 (105分)	講義「妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援」 講 師：中板 育美 氏（武蔵野大学看護学部看護学科教授）
	14:45～14:55	休憩
	14:55～16:40 (105分)	講義「子どもの貧困問題とソーシャルワーク」 講 師：長谷川 俊雄 氏（白梅学園大学子ども学部子ども学科教授）
	16:40～16:50	休憩
	16:50～18:20 (90分)	講義「子ども家庭支援における社会的養護の役割」（仮） 講 師：松原 康雄 氏（明治学院大学社会学部社会福祉学科教授）
	18:45～	懇親会
2 日 目	9:30～10:40 (70分)	講義「子どものこころの発達と精神科医療」 講 師：近藤 直司 氏（大正大学心理社会学部臨床心理学科教授）
	10:40～10:50	休憩
	10:50～12:20 (90分)	講義「多職種連携による包括的支援と社会福祉士の役割」 講 師：酒井 珠江 氏（広島県教育委員会）
	12:20～13:10	休憩
	13:10～15:55 (165分)	事例研究「子ども家庭支援におけるチームアプローチの実際」 講 師：酒井 珠江 氏（広島県教育委員会） ：坂口 繁治 氏（さかぐち社会福祉士事務所）
	15:55～16:05	事後課題の説明
16:10	閉会	

4. 受講対象者： 以下①、②ともに満たす者
 - ①社会福祉士
 - ②地域における子ども家庭支援の実践者、またはこれから子ども家庭支援に携わろうとする者
5. 定 員： 140名（先着順）※申込者数により開催しない場合があります
6. 受 講 費： 会員 15,000円、会員以外 20,000円
7. 懇親会費： 4,000円（予定）※参加希望者のみ
8. 昼食・宿泊： 各自、ご手配ください
9. 修了条件： 以下①、②を全て満たすこと
 - ①2日間の集合研修を受講すること（30分以上の遅刻・早退・途中退出は未修了となります）
 - ②事後課題を提出し、合格すること
10. 申込期限： 2018年10月9日（火）
11. 主 催： 公益社団法人日本社会福祉士会